

Press Release

このリリースに関する連絡先
広報担当 榊原優
03 6271 9408
yu.sakakibara@bakermckenzie.com

ベーカーマッケンジー、東京ガスによる英国オクトパスエナジーへの出資と戦略的提携に関して法的アドバイスを提供

【2021年1月14日 東京発】ベーカーマッケンジー法律事務所（外国法共同事業）（所在地：東京都港区、代表パートナー：近藤浩、以下、「ベーカーマッケンジー」）は、東京ガス株式会社（以下、「東京ガス」）による英国のオクトパスエナジー社への出資と戦略的提携に関して法的アドバイスを提供しました。

日本の都市ガス事業者最大手である東京ガスは、国内電力小売事業の加速に向けた取り組みを進めており、再生可能エネルギーの普及拡大を推進しています。

オクトパスエナジー社は、デジタル技術や電力小売事業に関わる知見を有しており、競争の激しい英国市場において約4年間で180万件以上の顧客を獲得するなど、急成長を遂げている企業です。東京ガスは、新たに英国に設立する会社を通じてオクトパスエナジー社へ約200億円の出資を行い、戦略的提携により日本におけるエネルギービジネスを通じた「新たな顧客体験」の浸透を目指します。

ベーカーマッケンジーでは、東京事務所のプロジェクトグループ共同責任者であるサミール・デサイ（Samir Desai）をリード・パートナーとし、同グループカウンセルの田邊政裕、アソシエイトのホジョン・ジュン（Hojung Jun）およびスティーヴン・マッキャン（Stephen McCann）が本案件を担当しました。さらにパートナーである阿江順也、達野大輔、竹中陽輔および村主知久、チームメンバーとして丸山伸、鈴木道夫および菅礼子が業務分野を跨いで携わりました。

デサイは本案件について、「東京ガスの革新的な本案件に関与させていただいたことを光栄に思います。特にエネルギー関連事業などの主要産業ではデジタルトランスフォーメーションを迅速に進めることが成功の鍵となります。両社の提携は、SDGsの観点からも日本のユーザーに様々な恩恵をもたらすことは間違いありません」と述べました。

ベーカーマッケンジーのチームとしては、その他、ロンドンオフィスのコーポレート・パートナーであるNick Bryans、コーポレート・アソシエイトのGeorge Baker Baker、Dewi EvansおよびJessica Tangをはじめ、ベルリン、メルボルン、サンフランシスコオフィスのメンバー多数も本案件に関与しました。

- 以上 -

本件における責任者



サミール・デサイ
プロジェクトグループ共同代表
パートナー
03 6271 9459
samir.desai@bakermckenzie.com

1996年から海外プロジェクト・ファイナンス分野において経験を積み、現在東京事務所、プロジェクトグループ共同代表。1999年から2005年まで、ベーカーマッケンジー、ワシントンDC事務所の国際大型プロジェクト・グループに在籍。

ベーカーマッケンジーについて

ベーカーマッケンジーは、世界を舞台とする厳しい競争に立ち向かうクライアント企業を支援します。私たちは、様々な国や幅広い業務分野に関わる複雑な法的課題を解決します。70年以上にわたり独自の文化を育ててきた当事務所では、13,000人の所員が現地の市場を理解し、複数の国や地域に跨る案件を巧みに遂行することができます。信頼のおける同僚・友人のように、互いに協力して案件に臨むことで、クライアント企業と信頼を築きます。

www.bakermckenzie.com

ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）は、ベーカーマッケンジーの東京事務所として1972年に開設されました。日本法に関する卓越した知識、経験とともに、グローバル・ビジネスに関する実績とノウハウを兼ね備えた外国法共同事業を営む法律事務所として、日本最大級の規模を有しています。当事務所は、ベーカーマッケンジーのメンバーファームとして、国内外の金融法務、M&A、企業法務、独占禁止法、大型プロジェクト、知的財産、国際税務、訴訟・仲裁、労務、環境、製薬、不動産関連等について、総合的かつ専門的な法務サービスを提供しています。

www.bakermckenzie.co.jp

